

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価書】

中学校区におけるめざす子ども像	自らを律し、自ら主体的に、生涯にわたり学び続ける子ども
-----------------	-----------------------------

令和7年度 重点目標	(教育目標)「豊かな心と健やかな体を育み、確かな学力をつける」 (重点課題)・総合的な学力の向上 ・豊かな心と健やかな体の育成 ・特別支援教育の充実 ・危機管理体制の確立 ・よりよい教育環境の整備
------------	---

確かな学びの現状 ここ最近では基礎基本に重点をおいた学校での学習内容の定着を図るための家庭学習に力を入れ、基礎的な学力の定着は少しずつであるが進んできている。しかし、思考力や表現力・応用力を身につけるところまでには至っていない。そこで今年度も各教科の源となる国語科の確かな学力をつけること、そして指導力向上をめざし教員の研修とともに、授業では言語活動をともなった主体的・対話的な学習活動に取り組む。家庭学習においては、引き続き学校で学習した内容の定着を図りながら、児童用パソコンを活用した個別最適化の学びの保障を推進する。さらに全学年において自主学習が家庭学習として根付くよう児童の実態に応じて粘り強く取り組む。また児童が取り組んだ「自学ノート」の掲示・HPへの掲載など、さまざまな形で示し、啓発することにより、自学への意欲・関心を育む。すべての学校教育活動の中で、一人一人が学ぶ喜び、充実感、達成感を感じ、児童の自己肯定感を育んでいきたい。みんなが『わかる授業』『できる授業』となるよう、授業のUD化を進め、授業改善に今年度も取り組んでいきたい。	豊かな心・健やかな体の現状 静謐な教育環境の中、ほとんどの児童が落ち着いて学習し生活することができている。ただ遅刻等、生活のリズムが崩れている児童もいるので、今年度も引き続き早寝早起きの習慣を定着させるために家庭への協力を求めていく。また、自分に自信がもてず自己有用感の低い児童もいる。そのような児童には人権教育を通して『いいところみつめ』等により誰かのために役立つ自分に気づき取り組みに重点を置き、児童の自己肯定感を高めていくとともに、相手の気持ちを考えられる思いやりや気遣いの気持ちを大切にしていきたい。体力面については特に敏捷性や柔軟性などの体力の低下が顕著である。生涯にわたり学び続けるためには、健やかな体が何より大切だと考え、子ども達が夢中になって取り組む体育的活動を意図的に仕掛け、児童の運動量を増やしていく。日々の体育の授業で運動の喜びを知り、主体的に運動する児童の育成をめざしたい。
--	---

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (11月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価

確かな学び	基礎基本の定着	自主学習を授業内容と綿密につなげ、家庭学習の一層の定着をめざす。	●★授業での学習理解を図り、「朝の学習」や「家庭学習のしおり」を活用した家庭学習の習慣化等を通して基礎的・基本的な学習内容の確実な習得を図る。 ●児童一人1台のパソコンを使用し、低学年では調べ学習等、高学年ではプレゼンテーションの資料作りや発表などを行う。そしてタブレット端末を活用した個別最適化の学びを推進していく。特に週3日以上、各10分以上の活用をクリアし、児童1人1台PC活用推進をより一層充実させる。	・学校教育評価アンケートについて「学習習慣の啓発に努めている」(保護者)で肯定回答率が85%以上・授業に関する項目(児童)で肯定回答率が85%以上 実践報告、各種総括会議等での総括結果	アンケート等	2学期末	概ね順調に進んでいる。	A	学校教育評価アンケート「学校は望ましい学習習慣の啓発に努めている」の項目で保護者の肯定回答が92.1%、児童のアンケートでも「先生は私たちの話をよく聞いてくれる」の項目で、肯定回答が91%と目標を上回った。次年度も子どもたちの考えや意見を大切に、着実に学習理解を深め、基礎・基本的な学習内容の定着を図っていきたい。「個別最適化・協働的な学び」については、引き続き児童用パソコンを活用した学習を推進していきたい。	A	目標に対し達成できていると思う。授業参観等を見させてもらっているが、先生と子どもたちとの関係が良く、積極的な態度が感じられ、うまくいっていると考え。宿題やテストのやり直し等、課題として取り組むことができている。子ども自身にも、やり直しの習慣が身につけてきている。
-------	---------	----------------------------------	--	---	--------	------	-------------	---	---	---	---

確かな学び	授業改善	「子どもが考える授業」から「子どもが自ら学びを進める授業」へと変革する中、R7「学びのコンパス」を活用した授業の研究を進める。	●★①個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 ②探究的な学び ③児童生徒用パソコンの活用の3つの視点を盛り込んだ授業づくりに取り組む。 ●少人数指導やT、T、スクールサポーター等の活用など、きめ細かな学習指導を行い、学習理解の定着を図る。 ●★研究授業や公開授業を通してわかりやすい授業のための指導法(UD化)や教材等の工夫改善に取り組む。	・学校教育評価アンケートで授業に関する項目の肯定的評価が85%以上 ・年度末の研修について総括等 ・授業アンケート・学校教育評価アンケート等で授業に関する項目の肯定的評価が75%以上 ・学校教育評価アンケートについて授業に関する項目の肯定的評価が85%以上 ・年度末の研修について総括等	・アンケート ・全体反省会等での総括 ・アンケート ・全体反省会等での総括 ・アンケート ・全体反省会等での総括	総合的評価は年度末 総合的評価は年度末 総合的評価は年度末	概ね順調に進んでいる。	A	学校教育評価アンケートの授業に関する項目「先生は自分が頑張ったことを認めてくれる」では児童の肯定回答が91.6%と目標を上回った。また、「授業でわからないことについて、先生に質問しやすい」では75.3%、「授業はわかりやすい」では87.9%と目標を達成した。しかし、昨年の数値と比較すると各項目で少し下回っており、今後、学校全体でより一層の授業改善に取り組む必要がある。	A	授業参観や子どもたちの普段の様子から、先生方へ質問をしやすい様子が伝わってくる。授業もわかりやすいとのことである。少人数指導の活用をしてはいるが、もっとレベルに合わせた指導ができるように、先生を増やすなどして改善してほしい。
-------	------	---	--	---	---	-------------------------------------	-------------	---	---	---	--

豊かな心・健やかな体	心の教育の充実	「いじめ防止・早期発見」に向けた組織的な取組と、絶対にいじめを許さない集団づくりを行う。また違いを認め仲間を大切にす「思いやり・心遣い」のできる子どもを育てる。	●★子どもの小さな変化を見逃さず、いじめの未然防止・早期発見・早期解決に努める。また自己肯定感や自己有用感を育む取組や仲間づくりを通し、人権意識を培い、いじめ防止に向けて、暴言・暴力のない集団を育成する。 ●「ぐんぐんのびる 竹城っ子」を活用し、集団生活のためのルールを守る態度を身につけさせる。 ●道徳の授業や体験学習を通じて、正しい人権感覚と知識をもって判断・行動できるように豊かな人権感覚を培う。さらに教科等の関連を図りながら、計画的に道徳の授業の実践に取り組む。	・「いじめのない学級づくりにと取り組んでいる」の保護者、職員肯定的評価85%以上 ・児童のアンケート結果・年度末の総括等 ・「学校のきまりを守っている」や「あいさつについてできている」と答える児童が85%以上 ・年度末の総括等 ・参観授業・オープンスクールでの道徳授業の公開を行う。	・アンケート ・全体反省会等での総括 ・アンケート ・全体反省会等での総括 ・実践報告 ・年度末反省会等での総括	総合的評価は年度末 総合的評価は年度末 総合的評価は年度末	概ね順調に進んでいる。	A	学校教育評価アンケート「学校はいじめのない学級づくりに取り組んでいる」の項目では保護者の肯定回答が90.8%と目標を上回った。引き続きいじめの早期発見と未然防止に取り組む。「学校のきまりややくそくを守っている」では児童の肯定回答が91%と目標を上回った。一方、「元氣よくあいさつしている」では79.6%と目標を下回った。挨拶を習慣づける取り組みを工夫したい。参観授業やオープンスクールで実施してきた道徳や人権啓発の授業の公開や自己有用感を育む取り組みは今後も継続する。	A	子どもたちの行動を見ての判断となるが、学校内での指導がうまくいっていると思う。上級生が下級生を思いやる心がとても良好であると思う。表面上いじめは無いと見えていても、裏ではわからない部分が多くあるこの世の中で、見守りができる環境を作り、早期発見解決ができるように取り組んでほしい。
------------	---------	--	---	---	---	-------------------------------------	-------------	---	--	---	---

豊かな心・健やかな体	体力向上	健康安全について理解を深め、運動に親しむ環境を整える。また体力の向上に向けての取組を進め、安全で健康な生活を送る力を身につけさせる。	●基礎体力作りを行うとともに、年間を通じて体育的な取り組みを通し、児童の体力向上に努める。 ●「早寝・早起き・朝ごはん」等の啓発や食育、睡眠教育、保健指導を充実させ、健康で健全な生活習慣の確立を促進する。	・学校教育評価アンケート(対象 保護者、職員)での肯定的評価が80%以上 ・年度末の総括等 ・「竹小の学習ルール」などでの学習習慣の啓発についてのアンケート評価で肯定的が85%以上	アンケート 全体反省会等での総括 ・アンケート ・生活状況調査等	総合的評価は年度末 総合的評価は年度末	概ね順調に進んでいる。	B	「学校は子どもの体力向上に努めている」の項目では保護者の肯定回答が84.3%と目標を上回った。新体力テストの結果では握力と立ち幅跳びにおいて全学年で全国平均・堺市平均を上回る一方で、上体おこし等において複数学年で全国平均・堺市平均を下回った。筋持久力等向上のための工夫が必要である。食育や保健指導等による「早寝早起き朝ごはん」等の啓発は今後も引き続き行う。	A	自分のやれる範囲でがんばっていると感じる。たくさん運動して体力をつけてほしい。
------------	------	--	---	--	---	------------------------	-------------	---	--	---	---

地域協働	信頼される学校	地域全体で子どもの成長を支え、地域を創生する「地域学校協働活動」のもと、地域・家庭との連携を密にする。保護者・地域に開かれた信頼される学校(堺版コミュニティスクール)づくりに努め、それに向けて学校情報の積極的な発信を行う。	●各種通信、校報・ホームページ、tetoru等を通し情報発信に努めるとともに、ペーパーレス化につとめる。またオープンスクールや学校教育アンケート等の活用を図る。 ●地域の安全見守り隊や保護者による見守り活動と連携し、児童の登下校時の安全を確保する。また、地域、保護者に学校を開き、人的交流を推進する。	・学校教育評価アンケート(対象 保護者、職員)での評価が肯定的で85%以上 ・保護者のアンケート結果で肯定的評価が85%以上 ・各種総括会議等での総括結果	アンケート等 各種総括会議意見等	総合的評価は年度末 総合的評価は年度末	概ね順調に進んでいる。	A	学校教育評価アンケート「学校は教育方針をわかりやすく伝えている」の項目で保護者の肯定回答が89.5%、「学校は保護者・地域の願いに応えている」では92.1%と目標を上回った。「先生は子どものことについて相談のつてくれる」では94.8%と昨年の数値を大きく上回った。「校報やHPを通して情報発信し開かれた学校づくりに取り組んでいる」では96.1%と高い評価を得ることができた。今後も保護者・地域の協力をいただき開かれた学校づくりに取り組んでいきたい。	A	大きな問題もなく、地域と学校、子どもの関係が良好と考える。tetoruでの今後の予定等、早く配信があるのでとても助かっている。先生方も、いつでも質問しやすくとても助かっている。先生方は相談に乗ってくれるという点で、今後子どもたちの悩みや不安を聞いて助けてほしい。
------	---------	---	---	---	---------------------	------------------------	-------------	---	--	---	---

校長より(年度末) 「確かな学び」については、基礎基本の定着において取り組みの成果が見られる一方で、授業改善において課題が残った。来年度の取り組みにつなげていきたい。 「豊かな心・健やかな体」については、それぞれに成果が見られる一方で、工夫し改善していく必要のある部分も見えた。それぞれの課題解決に向けて来年度も引き続き取り組んでいきたい。	学校関係者評価者から(年度末) 朝の登校時の見守りができる時は、とても楽しみにしている。朝の会話で、色々な情報を子どもたちが教えてくれることがうれしい。子どもを見れば、学校内での指導の良さを思う。今後も、できる範囲で協力していきたいと思う。
--	---